

2月定例
県議会
(2/16~3/22)

東日本大震災津波から丸6年

被災者の命とくらしを守る復興に全力

阪神大震災の
教訓踏まえ
孤独死を絶対に出さない対策を

社会減ゼロへー新規高卒者の県内就職率向上は急務

2月定例県議会は、2月16日から3月22日まで開催されました。高田一郎県議が一般質問に立ち、予算特別委員会では千田美津子県議が総括質疑に立つとともに、3人の県議団が力を合わせて県民の切実な要求実現に向けて全力で取り組みました。



予算特別委員会で質疑に立つ斉藤県議（3月10日）

◇孤独死を出さない特別の対策を

仮設住宅から災害公営住宅へ大規模な移行が進む中、新たな孤独化・孤立化が進行しています。仮設住宅と災害公営住宅での孤独死は合計48人（12月末、震災関連の自殺は41人に及んでいます。神戸市の「安心健やかルーム」の取り組みに学び、孤独死を絶対に出さない高齢者の見守りと、百戸以上の災害公営住宅の集会所と支援員の事務室にも支援員を配置し、県内最大の陸前高田市の県営災害公営住宅の集会所に「市民交流プラザ」の設置を求めました。

◇医療費・介護利用料等の免除継続 急増する子どもの心のケア

被災者の医療費・介護利用料等の免除措置が12月末まで継続になりました。

皆さんと力を合わせて実現しました

- 大震災津波被災者の医療費・介護利用料等の免除措置を12月まで継続実施
- 県立高田病院の再整備に40億円余
- 被災地コミュニティ形成支援に2千万円
- 内陸部への災害公営住宅291戸を整備（6市・7地区）、希望者が入居できるよう調整
- 台風10号被災3市町（宮古市・久慈市・岩泉町）が自由に使える「特定被災地域復興支援緊急交付金」に8億3千万円
- 気象庁や河川管理者、県の防災関係課等による「風水害対策支援チーム」を設置
- 35人学級を中学校3年生に拡充
- 県立病院の看護師増員計画（3ヶ年で110人）を上回る142人の増員
- 在宅の超重症児（者）等の短期入所受入体制支援事業に800万円



岩泉町で中居副町長（左）らから話を聞く（右奥から）林崎岩泉町議、千田県議、斉藤県議、高田県議（2月20日）

台風10号災害 豪雨

被災3市町に緊急交付金8億3千万円 在宅被災者への支援の強化を求める

水害では戦後最大の被害をもたらした台風10号災害対策について、県議団は2月20日に、大震災の10倍の被害を受けた岩泉町を訪問、調査を行いました。

岩泉町では、全壊・大規模半壊世帯の約6割弱が在宅で生活しており、在宅被災者への支援の強化を求めました。

台風10号被災者の医療費・介護利用料等の免除措置は、宮古市・岩泉町では8月末まで実施されます。

今年度予算では、宮古市・久慈市・岩泉町の被災自治体が自由に使える「特定被災地域復興支援緊急交付金」（8億3千万円余）が盛り込まれました。

台風10号災害の検証と具体化について、国の報告書では、市町村と要配慮者利用施設間の情報伝達体制の整備、気象庁や県の防災関係課などによる「風水害対策支援チーム（仮称）」の設置と市

大震災津波にかかる子どもの心のケアの受診件数は2月末で5720件と急増しており、こうした観点からも医療費の免除措置は平成30年以降も引き続き継続すべきと求めました。

◇新規高卒者の県内就職率向上へ 向けた抜本的な取り組みを

県は「ふるさと振興総合戦略」で2020年までに社会減ゼロとする目標を掲げました。具体的な取り組みとして、県内中小企業の人材確保のためにも、新規高卒者の県内就職率64・1%（全国39位）を、せめて宮城県（80%）や山形県（79%）並に早急に高めるよう目標を見直し、抜本的な取り組みを進めるよう求めました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2017年4月 No. 151
発行：日本共産党岩手県議団事務局
斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6
日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ
<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp>

**子どもの貧困問題を考える
シンポジウム**

○日 時：5月21日（日）午後1時30分～4時
○場 所：盛岡市上田公民館・1階ホール
○講 演：斉藤昭彦岩手県立大学准教授
「盛岡市ひとり親世帯の子どもの生活実態調査から見える母子世帯の生活困窮」
主催：日本共産党岩手県委員会、東北ブロック事務所

都道府県議会で初!

核兵器禁止条約の実現を一請願・意見書を採択

達増知事が「ヒバクシヤ国際署名」にサイン

南スーダンから自衛隊即時撤退を求める請願は不採択

3月22日の最終本会議で、県被団協と原水協が提出した「日本政府に対し、核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に努力するよう」

2月28日には「ヒバクシヤ国際署名」の会が達増拓也知事に対し、ヒバクシヤ国際署名への賛同を求め要請を行い、県議会各会派の代表が同席しました。達増知事は、「岩手の会の活動が核兵器のない世界への後押しになっていく。岩手から核兵器廃絶の声を示すのは重要だと思ふ。私も署名します」と答え、その場でサインしました。



ヒバクシヤ国際署名にサインした達増知事(中央)とヒバクシヤ国際署名岩手の会のみなさん(2月28日)

「国として中学校卒業まで医療費無料とするよう求める」請願と意見書は全会一致で採択され、「最低賃金の引き上げを求める」請願は一部不採択の項目がある。

35人学級を中学校3年生に拡充 県立学校・中学校一部活動休養日を週1日以上

中学校3年生での35人学級が今年度から実現します。さらに小



商工文教委員会で質疑に立つ斉藤県議(3月2日)

あったものの採択されました。「南スーダンPKOへ派遣している自衛隊を即時撤退させることを求める」請願は、自民党・いわて県民クラブの5人・創成いわて・公明党・無所属の反対で不採択になりました。「共謀罪」法案の国会提出に反対する請願は継続審査となりました。

学校5・6年生での35人学級の早期実現を求めました。県教委は、県立学校と中学校の部活動について、「週1日以上」の休養日を設ける」とした通知を出しました。科学的合理的な部活動のあり方についての研修や趣旨の徹底を図り、実行するように求めました。

いじめによる不登校事件への対応、矢巾町いじめ自殺事件第三者委員会の調査報告書について取り上げ、いじめを認定しながら、いじめと自殺の因果関係が不明とされた問題点を指摘し、第三者委員会のあり方について問題提起しました。

子どもの貧困—深刻な実態浮き彫り

県の母子世帯等実態調査では、親の就業率は91.9%で全国平均の80.6%を上回り、収入基準では10~15万円がもっとも多くなっています。県立大学と盛岡市の調査では、「土日勤務がある」76%、「朝食・夕食を子どもだけで摂っている」29.5%、「子どもが病院にかからなければならないのに受診しなかった」25.5%—など深刻な実態が浮き彫りになり、沖縄県のように県としても子どもの貧困の実態を調査し、貧困打開の目標と具体的方針を確立して取り組むよう強く求めました。

陸前高田市で大震災津波6年のつどい

3月25日、東日本大震災津波6年のつどいが陸前高田市で開かれ、井上博夫岩手大学名誉教授が「復興の現状—その成果と課題」と題して記念講演を行いました。



大震災津波6年のつどいで報告するパネリストの皆さん

シンポジウムでは、陸前高田商工会の伊東孝会長、市社会福祉協議会の生活支援部門主任の安田留美さん、NPO法人きらりんキッズ代表理事の伊藤昌子さんがそれぞれ報告を行いました。

無料法律相談

◇弁護士が相談に応じます◇

- ・5月11日(木) 午後6時~
 - ・6月14日(水) 午後6時~
- 予約電話番号: 651-5881

無料生活相談

毎週土曜 10時~12時
場所: 斉藤信事務所

2月県議会に提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (賛成:○ 反対:×)

案件	斉藤信 (日本共産党)	千葉絢子 (県民クラブ)	小西和子 (社民党)	吉田敬子 (無所属)	高橋但馬 (改革岩手)	福井誠司 (自民党)	樋下正信 (自民党)	小野寺好 (公明党)	軽石義則 (改革岩手)	阿部盛重 (改革岩手)
核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現への努力を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
国として中学校卒業まで医療費無料とするよう求める請願・意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最低賃金引き上げに関する請願・意見書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
南スーダンPKOへ派兵している自衛隊を即時撤退させることを求める請願	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○

斉藤信の パワフル活動日誌

- 【2月】
 - 18日 県医労中央委員会、学習指導要領についての学習会
 - 19日 岩手県原水協総会
 - 20~21日 台風10号・東日本大震災津波復旧復興状況調査(岩泉町、田老漁協、山田町、大槌町、大槌病院、釜石市)
 - 23日 県議会本会議代表質問、県生協連と懇談
 - 24日 本会議一般質問
 - 25日 さようなら原発岩手県集会
 - 27~31日 本会議一般質問
- 【3月】
 - 2日 商工文教委員会
 - 3日 本会議(補正予算等採択)、議会改革推進会議
 - 4日 内陸被災者支援センターを訪問・懇談
 - 6~16日 予算特別委員会
 - 11日 東日本大震災津波復興推進市合同追悼式(穀田恵二衆議院議員とともに参加)
 - 12日 矢巾町いじめ条例案について町議と意見交換
 - 17日 商工文教委員会
 - 21日 復興特別委員会
 - 22日 第7回野党共闘調整会議、最終本会議、県政三者懇談会
 - 25日 復興県民会議「東日本大震災津波6年のつどい」
 - 27日 明るい民主県政をつくる会
- 【4月】
 - 1日 「核のゴミ問題を考える」公開講演会
 - 3日 「安倍政治を許さない」宣伝署名行動
 - 7日 「核兵器禁止条約めざす国連会議」報告会
 - 8日 岩泉町日本共産党演説会